

# 中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

# わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより 令和4年11月10日発行

## 11月の主な行事予定

- 11月12日(土)第52回日本PTA中国ブロック研究大会くらよし大会 (倉吉未来中心)
- 11月14日(月)県「コミュニティ・スクール推進研修会」兼「地域学校協働活動研修会」(淀江さなめホール)
- 11月19日(土)・20日(日)とりアート中部2022 (倉吉未来中心)
- 11月22日(火)市町村社会教育主事及び社会教育担当職員研修会兼地域コーディネーター研修会 (倉吉未来中心)
- 11月24日(木)第4回子育て・家庭教育支援員フォローアップ研修(新日本海新聞社)

## 今こそ私たちができること

～子どものみらいのために まちのみらいのために～

10月13日(木)、まなびタウンとうはくで第4回鳥取県地域コーディネータ養成講座が開催されました。久しぶりの集合開催や、CSや社会教育では著名な講師陣を目の前にした研修ということもあり、聴講があるほど参加者の方々も心待ちにされていたようです。今回は、「コーディネートの意義と重要性」と題して、お2人に演習と講義を行っていただきました。志々田氏の講義では、「地域学校協働活動は学校や先生のお手伝いではなく、子どもと地域住民も一緒に次の時代をよりよく生きていくための『生きる力』を育む活動である。」「学校運営協議会は、学校と地域が連携した学校行事、学校活動を実施する会ではなく、学校運営や学習活動の充実に向けて、教職員と地域住民とがともに学び協議する場である。」ことを強く語っておられました。竹原氏には、「地域学校協働活動によるまちづくり・人づくりの事例をとおした学び」についてご講義いただきました。そして今後必要になる教育と地域の役割として「子どもも大人も学び続ける力を身につけること、そのために地域ができること。」についてたくさんの示唆をいただきました。演習の中では、今後地域コーディネーターとして地域の現状を踏まえ、不安や課題そして今後やってみたい活動など、グループで共有しながら話し合うことができました。今後全日程受講された方々は、「鳥取県地域コーディネーター」として認定されます。これからのみなさんの活躍に期待しています！



NPOまちと学校のみらい  
文部科学省CSマイスター  
竹原 和泉 氏



文部科学省  
国立教育政策研究所  
志々田まなみ 氏



# 芸術の秋！

11月19日(土)・20日(日)に倉吉未来中心にて「とりアート中部2022」が開催されます。

今回のステップアートは、西中学校美術部の作品が階段に飾られます。また、絵画コンクールでは、幼児から小学生までの作品291点が展示されます。その他さまざまなステージ発表やワークショップもあります。

昨年からの育成企画として誕生したサクソ演奏「中部ウインドアカデミー@サクソ」も注目です。

みなさまのご参加、お待ちしております！

# ちゅうぶくん

～虫の声～

早いものね、もう今年も終わりに近づいてきたわね。



何だか鈴虫の声も、もの悲しいな。



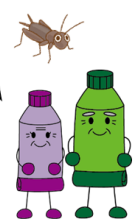
そうだ、みんなにも電話で聞かせてあげよう！



自分で鈴虫の真似をするしかないわね。



虫の声は、電話機より周波数が高いため、受話器から聞こえないそうじゃ。



# 「これからの時代を見据えた学びのデザイン」

10月27日～28日に「第64回全国社会教育研究大会広島大会」が開催されました。基調講演ではサンフレッチェ広島代表取締役社長の仙田氏が組織と人材育成について講演をされ、シンポジウムでは、著名なシンポジスト達が今後の社会教育の在り方について語られました。また第4分科会では、「社会構造の変化に伴う社会教育施設の役割」をテーマに実践発表がありました。特に島根県吉賀町のGIGAスクール構想は、学校だけでなく、家庭や公民館、社会教育施設をも巻き込んだ今までにないネットワークを実現し、この環境を構築する観点として、①制度②風土③道具の3つを、公民館スタッフに期待する3点として①場づくり②視点づくり③価値づけをそれぞれ挙げておられました。非常にすばらしい実践でした。



【基調講演】

【シンポジウム】

【分科会】

# 「社会教育の出番です！」

11月2日(水)、3年ぶりに「鳥取県社会教育振興大会兼社会教育委員研修会」が境港市市民交流センターみなとテラスにて集合開催されました。前半は、東京大学 牧野教授が「みんなが主役の〈社会〉をつくるー社会教育関係者の挑戦が子どもや住民を勇気づけ、新たな社会をつくるー」と題して講演をされました。

後半は、社会教育委員の研修会や3つの分科会に分かれての実践発表がありました。コロナ禍でも発想の転換やさまざまな工夫がなされた取組は、今後の大きな原動力となるでしょう。

今後ますますコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の推進が深まるにつれ、社会教育はより重要な役割を果たしていきます。誰かがではなく、自分自身がその一人として活躍できたら最高ですよ！



開会あいさつ  
稲嶋 副会長

講義  
牧野 教授

第3分科会  
北栄町の発表

## 【あとがき】

個人的な話題ですが、長男が今月に結婚することとなりました。とてもうれしいことなのですが、同時に私自身もそんな歳になったのかと、しみじみ思うようになりました。なぜなら、50を過ぎれば人生は既に折り返しており、残りの30年、いや実質25年をどう自分らしく生きようかと。まだ25年も残っていると、到底思えません。そう考えると、毎日を無駄に過ごさないよう、いろいろと考えてしまいます。限りがあるから、なのでしょう。

中部教育局 社会教育担当係長 徳永正樹

電話 0858-23-3253

FAX 0858-23-5203

E-mail tokunagama@pref.tottori.lg.jp

